

Ⅲ 研究のまとめ

Ⅰ 今年度の経過

今年度は、3年計画の1年次、『試行・土台作り』として、様々な研修に取り組んできた。そして学習指導要領に基づく目標設定の仕方について、各学部で授業実践を中心に研究を進めてきた。詳しい取り組み内容は以下の通りである。

- (1) 研究の日…各学部 (8/25、9/11、9/25、10/22、1/8)、
授業実践に向けての事前研究会、事後研究会研修 (月1・2日程度)
- (2) 授業公開
 - 10/8 (水) 授業公開 + ICT研修会
高等部 重複障がい学級 情報
「ロボットプログラミング競技大会に出場しよう」
ICT活用事業における研修Ⅱ「学習場面での活用について」
○講師 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
主任研究員 織田晃嘉 氏
- (3) 校内授業研究会
 - ①10/3 (金) 中学部授業研究会 助言者：山形県教育センター 鐘水佐知子 氏
 - ②11/28 (金) 小学部授業研究会 助言者：山形県教育センター 本間みゆき 氏
- (4) 校内研修会
 - ①5/29 (木) ICT活用事業における研修Ⅰ「教科指導等におけるICT活用について」
○講師 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
主任研究員 織田晃嘉 氏
 - ②6/12 (木) 自立活動にかかわる研修…「流れ図」について
 - ③7/29 (火) 教育課程に関する研修
○講師 国立特別支援教育総合研究所
研究企画部 (兼) 西日本ブランチ広島オフィス
総括研究員 大崎博文 氏
 - ④10/8 (水) ICT活用事業における研修Ⅱ
「学習場面での活用について」
⑤10/22 (水) 中学部・高等部
Co-MaMe：こまめ
※Co-MaMe：こころの病気(精神疾患及び心身症)のある
児童生徒への支援・配慮
アセスメントシート、支援のイメージ図、整理シートを 使ったの研修
 - ⑥12/16 (火) ICT活用事業における研修Ⅲ「活用の成果についての指導・助言」
○講師 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
主任研究員 織田 晃嘉 氏
- (5) 研究収録の発行…ホームページへの掲載

2 今年度の成果と課題

【各学部 授業研究の取り組みから】

<小学部>

- 学習指導要領を共通ツールとして、目標設定に取り組むことができた。
- 指導案に児童の実態・目標設定の根拠を示すために、学習指導要領「目標・内容の一覧」を活用することで、わかりやすく明記することができた。
- ▲設定した目標「学習のゴール」を児童と教員とで共有する方法の検討が必要。

<中学部>

- 学びの履歴、自立活動の流れ図で生徒の実態を把握し、学習指導要領を見ながら、具体的な生徒の姿をイメージして支援・指導まで考えることができた。
- 生活単元学習で取り扱う教科等の内容、目標について確認することができた。
- ▲教育課程が違う生徒がいる学習集団での授業づくりの仕方が難しい。
- ▲生活単元学習の学習計画での設定が妥当なのか。各教科等で取り扱うならば、どう学習計画していけば良いのか。

<高等部>

- 教科担任が学級担任と一緒に生徒の実態についてじっくり話し合い、学習指導要領をもとに目標設定をすることができた。(単一)
- 学習指導要領の各教科の目標と内容をよく読んで、生徒の実態を踏まえて目標設定をすることができた。
- ▲目標設定における「一部をかえていい」が、理解できていなかったことがわかった。
- ▲高等部の目標・内容を、目の前の生徒に授業でどう扱うかが難しい。

<全体を通して>

- Co-MaMe、ICTを使った研修、自立活動についての研修が良かった。
- 学習指導要領を学部職員全員で見ながら、教科等の目標や内容のまとまりを再確認したり、解説を読み直したりしながら、根拠のある目標設定に取り組むことができて良かった。
- ▲年度当初の計画に沿って、見通しをもって取り組むことができると良い。
- ▲各学部の取り組みであったため、他学部の授業を参観したり、事後研に参加したり、情報を共有したりする場面があると良い。

3 来年度の研究に向けて

「今年度の成果と課題」を受けて、以下の事が来年度の課題であると考えている。

- ・各教科と自立活動との関連
- ・学習活動の仕方
- ・学習内容の精選の仕方
- ・支援・指導の仕方
- ・目標と評価の一体化

また、学校研究の進め方として、見通しのある研究の進め方、他学部との情報共有なども課題として挙げられている。これらのことを踏まえ来年度の研究は、授業実践を通して、教職員間での児童生徒の実態把握、支援・指導などの共通理解を深めながら、児童生徒にとってより良い授業づくりの実現を図りたい。

4 研究同人

川田 栄治 富樫 智美 平山 琢也 峯田 菜津美

<小学部>

田川 玲子 田中 純子 逸見 静佳 草間 智弘 佐竹 真理子
松田 政子 門馬 達也 柴田 静香 渋谷 絵里 土屋 侑佳

<中学部>

斉藤 麻美 今田 かおり 佐藤 美幸 金子 和子 国井 千珠子
大泉 麻実 佐藤 陽介 新関 日春望 小松 敏一 日比野 久枝
丹羽 祐美子 高橋 めぐみ 相沢 駿斗

<高等部>

渡邊 千佳子 鈴木 美佐 嶋村 志朗 設楽 公美 治部 あかね
渡邊 千恵 工藤 孝太 本藤 順子 佐藤 美咲 深瀬 真智
井上 典子 五十嵐 彩 奥泉 隆広 福澤 美幸 渡邊 一誠
工藤 智子 土屋 淳一 横山 育子

令和7年度 研究収録 あゆみ 第50号

発行 山形県立山形養護学校
〒990-0876 山形県山形市行才116番地

編集 山形県立山形養護学校 学習研究部
佐藤美咲 新関日春望 深瀬真智 大泉麻実 土屋侑佳

発行日 令和8年 3月